

1 中学校区別ワークショップの概要

地域が主体的に地域の魅力や課題を把握し、地域課題の解決などのために協働していく「地域づくり」の気運醸成と、本市の最上位計画として策定する2040年を展望した「長期ビジョン」に地域の声を反映するために開催。

◆実施期間・回数

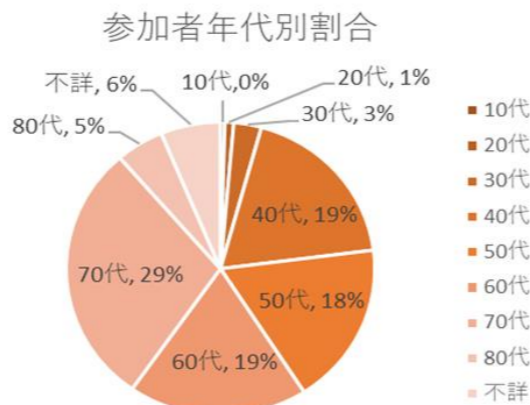
令和2年(2020年)12月6日～令和3年(2021年)7月18日
全26回

◆検討テーマ

「20年後のありたい姿」とその実現に向けて「必要なこと」

◆延べ参加者数

市民：653名(男性51.7%、女性48.3%)
従事者：505名



2 全体総括

(1)20年後のありたい姿

キーワード「つながり」「多世代」「安全安心」など

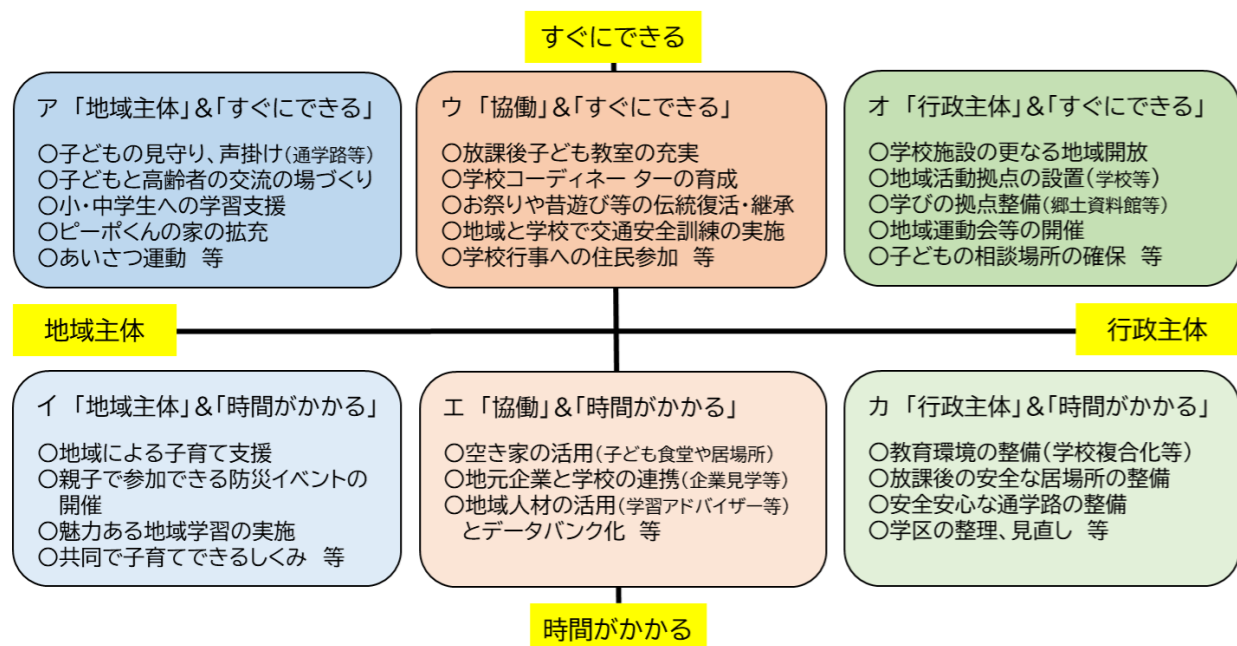
高齢化や人口減少が進むなか、地域内での居場所づくりや連携、行政との協働を望む声が多かった。

【20年後のありたい姿】

元八王子中学校区 大人も子供もつながりを大切に 仲の良い元八王子
加住小中学校区 笑顔あふれる子どもから大人まで一緒に成長できる加住
宮上中学校区 学校に地域住民の学びを集約して発信の拠点に

(2)ありたい姿の実現に向けて必要なこと(学校・子育て等に関する主な内容)

取組主体(「地域」・「協働」・「行政」と時間(「すぐに見える」「時間がかかる」)の6つの象限に分類。



3 「ありたい姿の実現に向けて必要なこと」のうち、学校・子育て等に関する主な意見

「ありたい姿の実現に向けて必要なこと」のうち、「学校」「教育」「子育て」に関する主な意見は下表のとおり。

意見としては、学校施設を地域の活動拠点・交流の場として活用することや学校と連携した見守り、学習支援など。地域コミュニティの核として学校に関わりながら、地域で子どもを育てたいなどの意見が多くあった。

※分類については、参加者が検討した分類をそのまま採用しており、同一の内容でも、分類が異なる場合がある。



区分	学校	教育	子育て
地域	○通学路での子どもの見守り ○ピーポクんの家の拡充 ○学校と地域の合同イベントの実施(防災訓練や地域清掃等)	○学生や高齢者による学習支援の実施 ○地域人材を活用した授業の実施(地域の歴史等) ○放課後の学習会の実施(高齢者の活用)	○中高生の居場所づくり ○子ども食堂の開設、充実 ○昼間に共同して子育てできるしくみ ○赤ちゃんの頃から地域で見守り(卒業ママ訪問等)
協働	○空き教室を活用した交流の場づくり ○学校と地域をつなぐ学校コーディネーターの育成 ○学校安全ボランティア制度の充実 ○地域と小中学校で交通安全訓練の実施	○各学校に地域サポーター制度の導入 ○小・中学生による地域歴史新聞の作成 ○地元企業と学校の連携(企業見学や職場体験等)	○子どもを地域で守り、育てる場づくり ○空き家を活用した子どもの居場所づくり ○放課後子ども教室と地域ボランティアの協働(学習アドバイザー等)
行政	○学校の整備(複合施設等) ○教育環境の整備(空調機、ネット環境等) ○安全安心な通学路の整備 ○学区の整理、見直し ○学校、地域、行政との定期的な意見交換	○小・中・高校の連携(体験学習等を通じて学校間の仲を深める) ○自尊心を育む教育の実施 ○教員のための地域講座(まち歩き等)	○学童や子どもを預かる場の充実 ○放課後の安全な居場所づくり ○子どもが自由に遊べる場の整備 ○子育てに係る財政支援

4 検討結果の活用方法

(1)地域づくり

- 「地域づくり推進会議」において、地域課題等の解決に向けた取組内容を検討する資料として活用
- 地域住民等がその地域や他の地域に関する情報の共有や意見交換を行うための資料として活用

(2)長期ビジョン

- 「地域のありたい姿」を用いて、長期ビジョンのあるべき姿の作成に活用
- 「ありたい姿の実現に向けて必要なこと」を用いて、長期ビジョンの重点テーマや施策の検討に活用

(3)その他

- 「ありたい姿の実現に向けて必要なこと」を庁内で共有し、既存事業での対応や政策立案などに活用